

## 松戸市立病院後期研修プログラム（救急部）

### 1. 研修対象者：

初期臨床研修修了者で、将来救急専門医を目指す者。

初期臨床研修修了者で、将来の専門は未定であるが救急医療をベースとした総合診療能力の獲得を目指す者。

### 2. 研修期間：1年を単位として最長 3年

### 3. 研修カリキュラム

研修一年目は救命センターに勤務し、救急医学会指導医ないし専門医の直接指導のもとセンターへ収容される疾病ないし外傷患者の診療に従事し、初期診療から入院後の手術や集中治療にいたる急性期治療と管理の知識・技能の研修を行う。

基本的に、日本救急医学会救急専門医取得の要件（日本救急医学会専門医取得要件を参照。日本救急医学会 HP <http://www.jaam.jp>）を満たす知識・技能の修得をめざす。

また JATEC（Japan Advanced Trauma Evaluation and Care 外傷初期診療の修練コース）及び ICLS（Immediate Cardiac Life Support 心肺危機患者への蘇生処置修練コース）を受講し、インストラクター資格の取得を目指す。二年目以後は相談により希望する他科への研修ローテーションも可能である。

研修中、指導医の指導のもとで年 1 回以上の学会発表（日本救急医学会関東地方会など）及び誌上発表を行う。

### 4. 研修システムの特徴

当救命センターは、日本救急医学会指導医施設・専門医施設の認定を受けており、指導スタッフが充実している。そしてその充実した指導医による濃密な指導が受けられる。たとえば研修開始 2 ヶ月目程度を目安に救命センター当直にも従事開始となるが、その場合指導医が同時に副当直として勤務し supervise する体制を取ることで、いつでも直接指導を受ける体制での研修が受けられる。

最近の実績では、当救命センターに 2 年間勤務すれば、救急医学会専門医取得に必要な診療経験がえられる。

当救命センターは ER 単独型ではなく専有ベットを有し、外来診療から急性期の集中治療、さらにリハビリ開始時までの診療を経験することが可能である。さらに内科系・外科系といった対象疾患の制約もなく、緊急手術や TAE を含む緊急血管造影検査なども当科で経験することが可能である。診療上関連する他科への consultation も多く経験でき、総合診療を目指す者の研修にも適している。

### 5. 指導スタッフの概要

救急部部长 渋谷正徳（日本救急医学会評議員・指導医・専門医）

医長 吉岡伴樹（日本救急医学会指導医・専門医）

医長 森本文雄（日本救急医学会指導医・専門医）

医長 鈴木義彦（日本救急医学会指導医・専門医）

医長 藤芳直彦（日本救急医学会専門医）

#### 6. 研修終了後の進路

研修終了後希望があれば、優先して常勤医としての採用を検討する。また専門医取得希望者は、引き続き当科ないし大阪大学救急医学教室関連の施設での研修・勤務が可能である。（白心会 HP 参照 <http://www.sccmc.izumisano.osaka.jp/hakushinkai/>）